

経営比較分析表（平成28年度決算）

香川県坂出市 市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	ド透訓	救臨へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
54,222	15,888	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

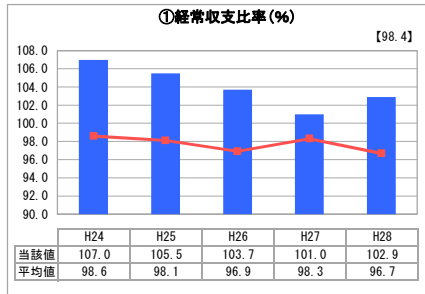
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
194	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	194
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
186	-	186

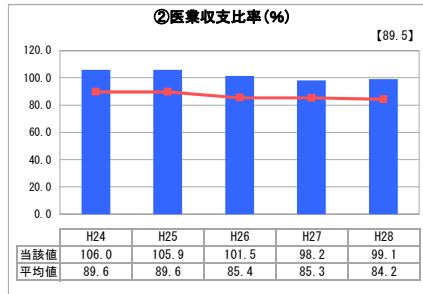
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

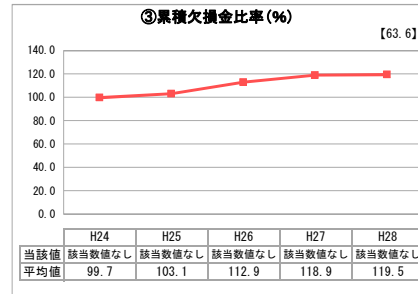
1. 経営の健全性・効率性



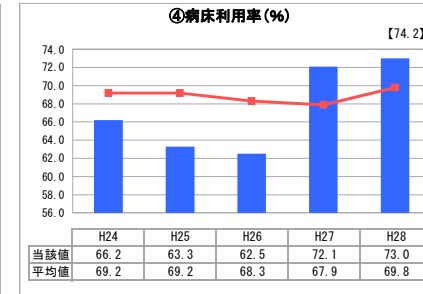
「経常損益」



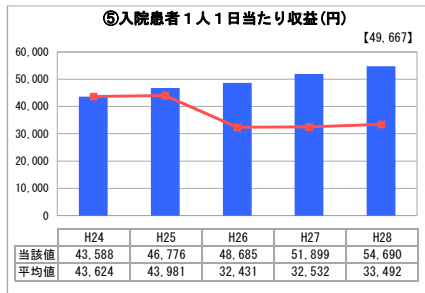
「医療損益」



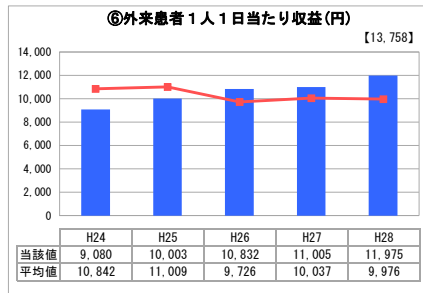
「累積欠損」



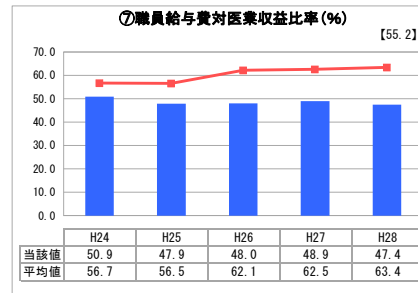
「施設の効率性」



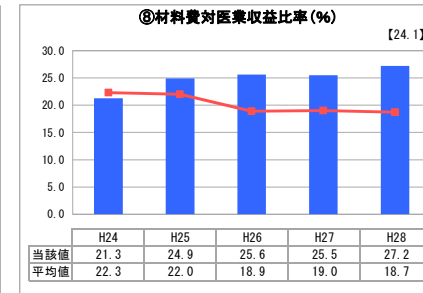
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

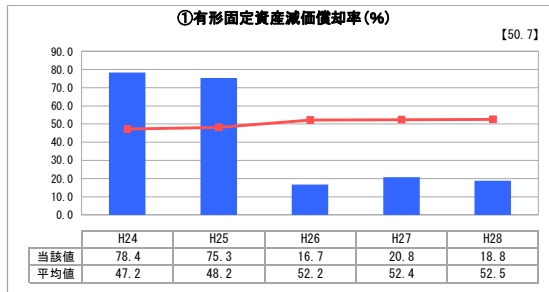


「費用の効率性①」

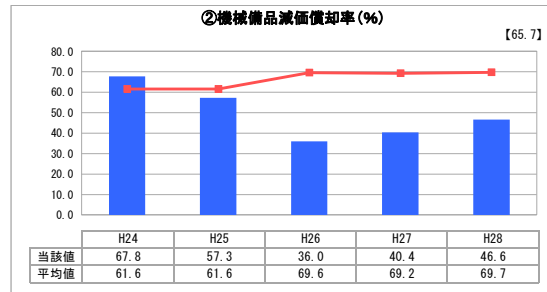


「費用の効率性②」

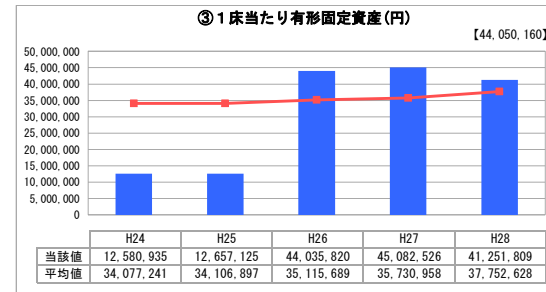
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

山間へき地・離島などで医療を受けられない人たちのために医師を派遣し、救急告示病院・病院群輪番制病院として夜間・休日にも医療が受けられるような態勢を整えております。また、臨床研修病院として次代を担う医師の育成に取り組んでいます。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

過去5年間、経常収支は黒字を保っています。医療収支については、平成26年度に老朽化していた建物より新築移転したことにより、減価償却費が増加したため前年に引続き赤字となっています。新築移転より、年々患者が増えているため、④病床利用率、⑤入院患者1人1日当たり収益、⑥外来患者1人1日当たり収益が増加しています。また、良質な医療を提供するために職員を採用し職員数を増やしているため職員給与費は増加しているが、医療収益もそれに伴って増えているため、⑦職員給与費対医療収益比率がある程度一定に保たれています。患者の治療方法によっては薬価の高い薬品や治療に必要な診療材料を使用しているため、⑧材料費対医療収益比率が増加しています。なお、累積欠損金は無いので、③累積欠損金比率は該当数値なしとなっています。

2. 老朽化の状況について

平成26年度に老朽化していた建物より新築移転しました。平成28年度は旧病院を売却したため、①有形固定資産減価償却率、③1床当たり有形固定資産が前年に比べ減少しています。器械備品については、新築移転した際に更新した器械の減価償却累計が累積しているために、②器械備品減価償却率が増加しています。これからも、器械備品の耐用年数を鑑み、優先順位および必要度を考慮し器械備品の更新を行ってまいります。

全体総括

平成26年12月に新築移転してから、全体的に他の類似病院に比べ、良好な数値であり、経営状況は良い。これからも良質な医療を提供していくために、経営状態を良好に保つていく必要があります。経営理念である、「市民が安心して暮らせる、心の支えとなる病院に」を目標に公立病院としての役割を再認識し、医療体制の確立や、患者サービスの向上に努めるとともに、経営の健全化を図りつつ、地域に密着した医療を推進するために努力していきます。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。